

# FISHING トピック No.3

## 番外編 ナマズの仲間たち

秋雨前線の停滞、そして台風と長雨が続き、なかなか海洋調査に行けずにいる今日この頃…澄み渡る青空が恋しくてたまりません。さて、今回は番外編として、もし少年自然の家で飼育している“ナマズ”を紹介します。ナマズは、川の中流～下流や用水路などで暮らしています。



大きくなると60cm程まで成長するそうです。もし少年自然の家で飼育しているナマズは20cm程ですが、これからエサをモリモリ食べて大きくなってくれることでしょうか！ナマズと言えば「ナマズが暴れると地震が起きる」という有名な話があります。底にぴったりとくっついて暮らしているので、地震の微弱な揺れをいち早くキャッチしているのでは？地震の時に電磁波が出るという説もあるので、その電気を感じとっているのでは？様々な憶測がされていますが科学的な根拠はなく、本当かどうかは謎のままとなっています。立派なヒゲを生やしたユーモラスな姿をしているナマズですが、みなさんはヒゲの役割を知っていますか？ナマズの口ヒゲは多機能センサーになっていてエサや外敵との距離を測ることができます。エサとなる魚やカエルが出す振動を感じると静かに近づき、一気に丸呑みにして食べます。また、ナマズの歯は約500本、内側に生えていて、捕まえたエサを逃がさないような構造となっています。海にもナマズの仲間がいます。その名も“ゴンズイ”



潮だまりや防波堤などで見かける魚です。子どもの時は集団で行動する習性があり、この団子状の群れをゴンズイ玉と呼びます。そんなゴンズイですが、実は背びれと胸びれに毒があります。刺されると激しい痛みを襲われるそうです。また、死んでいても毒は失われていないので注意が必要です。魚が群れで泳いでいる時は、よく観察してゴンズイでないか確かめるようにしましょう！

最後に北九州に暮らす珍しいナマズの仲間を紹介합니다。紫川上流で暮らす“アカザ”です。アカザは環境省レッドデータブックで絶滅危惧Ⅱ類に指定されています。水温の低いところを好み、日中は石の下や岩の隙間などに隠れているので、なかなか発見することができません。アカザもゴンズイと同じく毒があるので注意しましょう。



もし少年自然の家に遊びに来た際は、ぜひナマズを観察してみてください。新しい発見があるかもしれませんよ？

作成日：令和3年8月25日